

NHK交響楽団 呉公演2023

NHK Symphony Orchestra, Tokyo Concert in Kure, 2023

— 哀愁にみち 華やかで美しい旋律 —

ラフマニノフとチャイコフスキーのロマンチックな名曲に酔いしれる



© Roman Goncharov

指揮 ウラディーミル・フェドセーエフ
Vladimir Fedoseyev

Program

ラフマニノフ
Rachmaninov

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 Op.18
Piano Concerto No.2 C Minor Op.18

チャイコフスキー
Tchaikovsky

交響曲 第5番 ホ短調 Op.64
Symphony No.5 E Minor Op.64



© Hiromichi Uchida

ピアノ 小山 実稚恵
Michie Koyama



2023年3月21日[火祝]開演16:00(開場15:15)

呉信用金庫ホール

(呉市文化ホール) 〒737-0051 広島県呉市中央3丁目10番1号

チケット料金[全席指定・税込]

一般 S席:8,800円、A席:6,600円、B席:4,400円、学生席:2,000円

クレジットカード友の会 S席:7,920円、A席:5,940円、B席:3,960円、学生席:1,800円

発売日 クレジットカード友の会 12月17日(土) 一般 12月24日(土)

インターネット予約 スマートフォンから楽々アクセス▶
[Webチケット販売] パソコンからは
ご利用いただけます。 <https://kure-web-ticket-r3.jp/?ko=1015>



チケット販売場所

呉地区: 呉信用金庫ホール、新日本造機ホール、イオン広島店、中国新聞呉支社

広島地区: エディオン広島本店東館9階プレイガイド、中国新聞読者広報部

その他: チケットぴあ(Pコード231-081)、ローソンチケット(Lコード63623)、中国新聞販売店(取り寄せ)

※学生席は、S席、A席、B席いずれも購入可、28歳未満の学生に限りです。入場時学生証をご提示ください。

取扱は呉信用金庫ホール、新日本造機ホール、ローソンチケット、チケットぴあ、財団インターネット予約のみ。

※未就学児入場不可。託児室あり(事前予約制、利用料金お1人様100円)。

※曲目に変更がある場合がございます、あらかじめご了承くださいませ。

主催(公財)呉市文化振興財団、呉市、中国新聞社



お子様連れでもご安心ください【館内託児室開設】
有料・事前予約制▶申込締切2023年3月14日(火)
詳しくは呉信用金庫ホールホームページの事業詳細をご覧ください。
<https://www.kure-bunka.jp/>



学生招待
●呉市在住または通学の小・中学生1名と保護者1名:25組(50名)
●高校生以上28歳未満の学生(短大・専門含む):50名
12月21日(水)~2023年1月20日(金)までにお申込みください。
この二次元コードから直接応募フォームへアクセスできます▶▶



【お客様へのお願い】 ●発熱、咳、咽頭痛の症状があるなどの体調不良の場合は、入場及び利用を自粛してください。 ●お客様はマスクを着用してご来場ください。 ●手洗いや手指のアルコール消毒を行ってください。新型コロナウイルス感染拡大防止の措置を講じる必要が生じた場合、変更・中止になる場合もございます。最新情報は呉市文化振興財団のホームページをご覧ください。

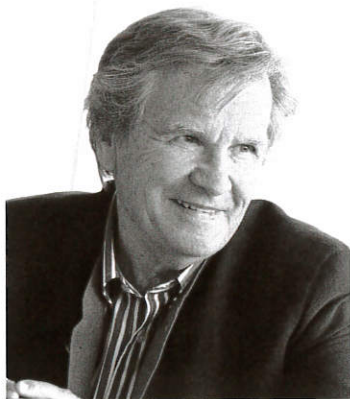


呉市文化振興財団
呉市中央3丁目10番1号 呉信用金庫ホール内

お問合せ

呉信用金庫ホール

☎(0823)25-7878 受付時間9:00~19:00
休館日:月曜日※月曜日が休祝日の場合は翌平日



指揮 ウラディーミル・フェドセーエフ

Vladimir Fedoseyev

1932年レニングラード(現サンクトペテルブルグ)生まれ。地元のムソルグスキー学校で音楽の教育を受けたのち、モスクワのグネーシン音楽アカデミー及びモスクワのチャイコフスキー音楽院のレオ・ギンズブルグ教授のもとで学ぶ。1971年、伝説的な指揮者であるエフゲニー・ムラヴィンスキーからレニングラード・フィルハーモニー管弦楽団の客演指揮者として招かれたことをきっかけに、輝かしいキャリアがスタートした。

1974年、モスクワ放送交響楽団(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の音楽監督及び首席指揮者に就任。以後40年を超えるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、世界ツアーを通じて海外での評価も確立している。

フェドセーエフは、叙情的なロシア作品でも重厚なヨーロッパ作品においても、国民的特性を存分に引き出した演奏することに定評がある。ロシア以外でも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ハンブルク・フィル、フランス国立管、フランス国立放送フィル、ベルギー国立管、チューリッヒ・トーンハル管、クリーヴランド、デトロイト、ピッツバーグ等欧米各国のオーケストラにも客演。さらに1996年より東京フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者、1997年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務め、ウィーンのムジークフェライン・ザールや海外で大成功を収めた。オペラの分野でも精力的に活躍しており、チューリッヒ歌劇場での数々のプロダクションに加えて、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、フリンツェ5月音楽祭、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、サンクトペテルブルグ・マリンスキー劇場などの一流オペラハウスや音楽祭の指揮台に上がっている。また、チャイコフスキー、ムソルグスキー、リムスキー＝コルサコフ、ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、スクリャービン、ショスタコーヴィチ、ブラームス、ベートーヴェン、マーラーや、オペラ、バレエ作品など、録音も膨大な数に及んでいる。

フェドセーエフはこれまでの偉大な功績に対し、ロシア政府はもちろんオーストリア政府、ウィーン市、オーストリア・アカデミー、グスタフ・マーラー協会などから数々の賞を受賞。2012年9月にはロシア正教会の最高位、キリル総主教からセルギー・ラドネジスキー最高位の勲章を叙勲した。



ピアノ 小山 実稚恵

Michie Koyama

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。

16年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』(2006年～17年)や『ベートーヴェン、そして...』(2019年～21年)が、その演奏と企画性で高く評価された。2022年からはサントリーホール・シリーズ、第1シーズン Concerto＜以心伝心＞を25年まで開催する。

これまで共演したオーケストラとして、国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ放送響(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、イギリス室内管、ロッテルダム・フィル、シンフォニア・ヴォルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、ボルトンモア響などが挙げられ、フェドセーエフ、デミルカーノフ、マリナー、小澤征爾といった国際的指揮者と共演している。デュメイ、ギトリス、ブルネロといった名だたるソリストと室内楽で共演する。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなど、国際音楽コンクールの審査員も務める。また東日本大震災以降は、被災地の学校や公共施設などで演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務める『こどもの夢ひろば"ボレロ"』を開催。音楽を通しての心の交流の場、音楽に限らず子供たちが新たな体験をしながら、自分の好きなものを見つけられるような場を創りたいと、情熱を注ぐ。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、32枚をリリース。近作の2つのベートーヴェン・アルバム『ハンマークラヴィア・ソナタ他』(2020年)と『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』(2021年)は、深化するピアノズムが大きな話題を集め、共に「レコード芸術」特選盤に選ばれた。著書として『点と魂とスイートスポットを探して』をKADOKAWAより、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)を音楽之友社より出版している。

2005年度 文化庁芸術祭音楽部門大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞、2013年度レコード・アカデミー賞(器楽部門『ジャコンヌ』)、2015年度 NHK交響楽団「有馬賞」、2015年度 文化庁芸術祭音楽部門優秀賞、2015年度 ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞。2018年度 大阪市民表彰を受ける。2017年度には、紫綬褒章を受章している。東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。

NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo

NHK交響楽団は、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏は、NHKのテレビ、FM放送で日本全国に放送されるとともに、国際放送を通じて全世界にも紹介されている。また、2013年8月にはザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春にベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。

近年はオーケストラの人材を育成する「N響アカデミー」、全国の学校を訪問し身近に音楽の楽しさを伝える「NHKこども音楽クラブ」など、次世代を育てるための多彩な活動を行っている。また東京2020オリンピック閉会式では「オリンピック賛歌」、2022年2月の北京冬季オリンピックでは、NHKのウィンタースポーツテーマソング《Fly High》(歌・milet)の演奏を担った。

コロナ禍の影響により2020-21シーズンの定期公演は、すべて中止という前例のない事態となった。しかし専門家の助言や科学的な実験をもとに万全な感染対策を講じ「特別公演」を毎月開催。2021-22シーズンには定期公演を再開し、制約の多い日々を過ごす人々に音楽を届け続けている。指揮者陣には、首席指揮者ファビオ・ルイージ、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージ、名誉指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、正指揮者 外山雄三、尾高忠明を擁している。



託児室
申し込み
案内

お子様連れでもご安心ください、呉信用金庫ホール内の託児室のご案内です。

呉市文化振興財団では、公演日に小さなお子様をお連れのお客様が安心してご鑑賞いただけるように、館内に託児室を準備いたします。お気軽にご利用いただけるよう安価でご案内しています。ご利用をご希望のお客様は、下記ご利用案内をご確認のうえお申込みください。

【託児室お申込み方法】

インターネット専用フォームでのお申込みになります。呉信用金庫ホールホームページから、NHK交響楽団呉公演2023専用サイトへ進み「託児室申込みフォーム」へアクセスしてください。

URL <https://www.kure-bunka.jp>

- 託児室のご利用対象年齢 0歳児(生後100日から)～小学3年生
[当日の持参]必要に応じてご用意ください。オムツ・ミルク(哺乳瓶)・飲み物・おやつ・着替など。
- 受付期間 2023年3月14日(火) ※締切日までにご利用の申込みがない場合は開設いたしません。
- 定員・ご利用料金 定員20名(事前予約制) / 利用料金(税込)100円

保育士の資格を持ったスタッフがお子様をお預かりします